

報道関係各位

2023年度 入社訓示

森トラスト株式会社、森トラスト・ビルマネジメント株式会社、および森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社では、本日（4月3日）午前11時より、完成前の東京ワールドゲート新本社にて、対面とオンラインを併用し2023年度入社式を開催しました。本日より社会人となる新入社員79名に向けて、森トラスト、森トラスト・ホテルズ&リゾーツ代表取締役社長の伊達美和子により訓示が行われましたので、ここにその内容をご紹介します。

本日は入社おめでとうございます。皆さんの新しい門出に心からお祝い申し上げます。

この数年、コロナ禍により光が見えない中、先を模索せざるを得ない状況にありました。皆さんの学生生活もオンラインとリアルが併存する、これまでとは全く異なるスタイルであったと思います。我々を取り巻く事業環境も例外ではなく、様々な影響を受けていました。

特に、それまで大変好調であったホテル事業は環境が一変。インバウンドが蒸発、国内需要も制限され大変厳しい事業環境となりました。また、オフィス事業においても、テレワークが常態化する中でオフィスそのものの価値が問われ始めました。

しかし、昨年度の水際対策緩和により、徐々にホテル事業は好転しています。特に森トラストでは、従来のホテルに加え、2020年に3つのホテルを開業していたことにより、昨年度のグループホテル事業の売上は過去を大きく上回っています。さらに今年、来年と複数のホテルを開業予定で、不確実な情勢においても着実に前進し続けています。また、世界の海外旅行者は年々増える傾向を示し、日本に対する旅行ニーズは、大変高いものがあります。コロナ禍においても着実に準備してきたホテルが、その需要の受け皿になることを期待しています。

また、オフィス事業において、事業活動の中にデジタル化が浸透する一方で、社会活動が回復していくとともに、改めてオフィスの在り方やリアルの価値が見直されるものと考えています。来年は、我々が提唱する「DESTINATION OFFICE」構想を実現する「東京ワールドゲート赤坂」が開業します。人々がリアルな場で活動を共にすることで生まれるエネルギーや化学反応から生まれるイノベーション。活発に交流することで形成される組織へのエンゲージメント。これらを達成できる場所が、これからのオフィス像であり活発な企業活動を支える源泉になると考えています。

そして、本年度より森トラストの本社は東京ワールドゲートに移転します。従来のデスクが整然と並び事務作業をするという単調な場所ではなく、目的をもって集い活動する、人との交流の中で憩い快適性を実感する場所になる、そんなオフィスを我々自身が形づくっていくのです。皆さんもその一員として、フレッシュな感性を生かし、新オフィスで活発に活動することを期待しています。

一方、コロナ禍から経済活動は回復しつつありますが、社会経済全般をみると、長期化するウクライナ情勢、急激に進んだ円安、米国の歴史的な政策金利上昇とインフレ問題、そこから派生した足元の金融不安など、不透明さが増す一方です。こうした経済情勢は、物流の停滞、建築費や燃料の高騰を生み出し、工事期間の長期化など、事業に直接影響を及ぼすものとなります。このような不透明さが増す不確実な社会の中で、皆さんには、①多角的な視点で視野を広げ、常に改善策を講じる。②見えない先を見据える力を養いバランスをもって挑戦し続け未来づくりに貢献する。そうした気概、精神をもって、事業、業務に積極的に参画していただきたいと思っています。

変化の激しい社会情勢ですが、暗く長く続いたトンネルに差し込む光を確実にとらえ、ともに前進し発展を目指していきましょう。

本日は皆さん、本当におめでとうございます。

森トラスト株式会社
森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社
代表取締役社長 伊達 美和子